

川上而した甚大なる別配下田日月を匿ふ事あり一人息子の政交不字獄ト行ては構わ以て
復りまゝは俺の勢をまて無事なり云々金の多せぬと敢言しす左
要するに握り親子の財産の便分を、と吾を怪業一頁を暗しものトとて居るヲ
諸君、斯くは情勢に在る余作之、不為ま之、不為ト、右高ひ立るストライキに決行し左
近業負事一名に對し以て争試を勝もる為ト所氏諸君の絶大なる支持を授けし小次才
トす

咬血鬼!! 握りま谷中からオシホリ出らて下さい
所氏諸君の圧力で此の争試を勝たしめて下さい、

中野館 合同争試団本部
代々幡館 淺橋柏木二一八

労社第三一三八部

昭和七年十月三日

警視總監 藤沼 庄 平

内務大臣 山本 達 雄 殿
社 會 局 長 官 殿

7.10.6
337

中野館及代々幡館共同労働争議ニ関スル件 (第三報) 解決
既報標記労働争議、前報以来労働者側ハ行高隊、編成、批判、強
誑會、開催、親戚関係者訪問其他絶へず宣傳ビラ、貼撤布等ヲ
為し其、間左記警察事故ノ發生ヲ見ク此九月廿四日午後一時
ヨリ六時迄當廳調停課ニ於テ労働會見折衝ノ結果別記覽書ノ条
件ニ依リ円満解決セリ

記

一 警察事故

A